

陳 情	受 理 番 号	4	受 理 年 月 日	令和7年8月15日	付 託 委員会	教育福祉
件 名	小中学校における平和教育の推進について					

みだしの件について、別紙のとおり陳情いたしますので、よろしくお願いいたします。

件 名 小中学校における平和教育の推進について（陳情）

陳情の趣旨

1 小中学校の発達段階に応じた平和教育、人権教育、歴史教育を各教科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等に位置づけた体系的プログラムを策定し、指導資料等の作成、及び指導方法等を小中学校に提供し、研修等で周知を図ること。

2 上記の取り組みを進めるために、県市教育委員会・学校・家庭・地域・関係機関・平和研究者等の連携に向けた体制の構築を図ること。

陳情の理由

貴市の「平和学習の手引き」（那覇市教育委員会）では、小中学校の教師がそれを平和学習にどのように活用していくかが不十分である。

平和学習ポータルサイト（沖縄県教育委員会）は平和教育の基本的考え方を「生命の尊重、個人の尊厳」、「他人の立場を理解し、思いやりの心、寛容の心を育成」、「本県の歴史的特性に基づき、平和を尊ぶ心を育成」とする。

そこには人権教育、歴史教育の内容も含まれているが、貴市の「平和学習の手引き」には平和教育、人権教育、歴史教育の視点を盛り込んだ体系的プログラムが見当たらない。それゆえ、平和教育、人権教育、歴史教育の視点を盛り込んだ広島市平和教育プログラムのような体系的プログラムの策定と研修等での周知が必要である。

平和の尊さと戦争の愚かさを学ぶ平和教育は、いつの時代においても重要である。戦争体験者である語り部の方が少なくなっている現状において、今後の平和教育の推進が求められている。

そのためには、県市教育委員会・学校・家庭・地域・関係機関・平和研究者等の連携に向けた体制の構築を図ることが不可欠である。

以上が、陳情の理由です。ご審議の程、よろしくお願い致します。